

施策名：マーケットインの商品(もの)づくりの加速①

事業名	担当課・室名	ページ
GAPを活かす産地育成事業	地域農業振興課	1 / 10
The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 10
短期集中県域支援品目販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 10
The・おおいたブランドPR推進事業	おおいたブランド推進課	2 / 10
畜産GAP取得推進事業	畜産振興課	2 / 10
しいたけ消費拡大対策事業	林産振興室	2 / 10
県産水産物流通拡大推進事業	漁業管理課	3 / 10
県産農水産物学校給食提供事業	農林水産企画課	3 / 10
6次産業化サポート体制整備事業	おおいたブランド推進課	3 / 10
木造建築物等建設促進総合対策事業	林産振興室	4 / 10
持続可能な豊かな有機産地等活性化事業	地域農業振興課	4 / 10
水田農業産地力強化対策事業	水田畑地化・集落営農課	4 / 10
小麦産地生産性向上緊急対策事業	水田畑地化・集落営農課	5 / 10
食品企業連携産地拡大推進事業	おおいたブランド推進課	5 / 10
ねぎ産出額100億円プロジェクト推進事業	園芸振興課	5 / 10

施策名：マーケットインの商品(もの)づくりの加速②

事業名	担当課・室名	ページ
短期集中県域支援品目生産拡大推進事業	園芸振興課	6 / 10
おおいた園芸産地づくり支援事業	園芸振興課	6 / 10
花き経営安定化対策事業	園芸振興課	6 / 10
県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業	畜産振興課	7 / 10
おおいた冠地どり流通拡大対策事業	畜産振興課	7 / 10
肉用牛競争力強化対策事業	畜産技術室	7 / 10
酪農経営生産性向上対策事業	畜産技術室	8 / 10
草地畜産基盤整備事業	畜産技術室	8 / 10
堆肥広域流通・飼料生産拡大モデル事業	畜産技術室	8 / 10
畜産経営緊急支援事業	畜産技術室	9 / 10
酪農飼料転換緊急支援事業	畜産技術室	9 / 10
大野川上流地区園芸産地強化対策事業	農村整備計画課	9 / 10
林業再生県産材利用促進事業	林産振興室	10 / 10
しいたけ増産体制整備総合対策事業	林産振興室	10 / 10
農林水産物輸出需要開拓事業	おおいたブランド推進課	10 / 10

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価			
1	GAPを活かす産地育成事業 (R2 ~ R5) 地域農業振興課 安全・安心な農産物等の生産や農業生産の経営改善等を図るため、JGAPの認証取得に向けた取組を支援する。	①JGAPの活かし方見える化事業 ・JGAP認証農場の経営及び取組を分析 ・経営改善効果等に見える化し、他産地へのGAP普及を図る ②GAPの理解促進・推進 ・農業者へのGAP普及啓発セミナーの開催 ・GAP指導者となる人材育成のための研修実施 ③JGAP残留農薬検査 JGAP認証取得生産者等を対象とした農作物の残留農薬検査費用の一部助成	① 4,950 ③ 510	JGAP認証農家数 [戸]	目標値	233	250		C			
			② 1,398 ④		実績値	211	221					
			主な活動指標と達成率				達成率	90.6%		88.4%		
			農業教育機関のGAP認証数		目標値	9	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 高齢者の離農等により、JGAP認証農家が11戸減少したが、啓発や生産者指導を継続的に行い、新たに21戸がJGAP認証を取得した。 引き続きJGAP認証のメリットを分かりやすく示し、新規のJGAP認証取得者を増やすとともに、既存のJGAP認証農家に対して、認証の維持継続につなげる。 (※) 令和5年度の成果指標及び目標値 GAP指導員による指導数 180[経営体]					
			[学校数]		実績値	9						
JGAPの活かし方見える化		目標値	3									
[累計：件]		実績値	3									
予算額 (うち翌年度繰越額) 7,658 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 6,858 (2,866)			達成率	100.0%								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価			
2	The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業 (H28 ~) おおいたブランド推進課 県産農林水産物の販売を促進するため、マーケットニーズに対応した販路開拓に取り組むとともに、販売の多チャンネル化に向けて新商品の開発等を支援する。	①消費拡大対策 ・県産農林水産物の流通販売戦略を立案推進する流通対策本部の活動を支援 ・「The・おおいた」ホームページの保守管理運営や季刊誌の発行 ②カボス振興対策 ・「大分かぼす」を全国にPRし、需要拡大を図るために活動する大分県カボス振興協議会に対する負担金 ・カボス振興協議会設立50周年記念事業の開催 ③販売の多チャンネル化対策 ネット販売需要の高まりへの対応を目的とした試作品の開発経費への支援や研修会の開催	① 28,668 ③ 1,410	園芸戦略品目でシェア1位の拠点市場数 [市場]	目標値	12	12	12	A			
			② 5,246 ④		実績値	12	13	—				
			主な活動指標と達成率				達成率	100.0%		108.3%	—	
			県外でのトップセールス回数		目標値	4	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 主要出荷先でのトップセールスのほか県内外での販促活動やPR活動を積極的に実施したことで、園芸戦略品目14品目のうち、シェア1位となった拠点市場数はピーマン(4)、白ねぎ(3)、こねぎ(1)、にら(2)、高糖度かんしょ(2)、かぼす(1)の13市場となった。 引き続き短期集中県域支援品目の増産計画を踏まえた、市場の新規開拓や既存市場でのシェア拡大、消費喚起対策に重点的に取り組んでいく。					
			[回]		実績値	6						
農産及び食品企業担当マーケットによる商談回数		目標値	100									
[回]		実績値	181									
予算額 (うち翌年度繰越額) 42,640 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 38,633 (0)			達成率	181.0%								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価			
3	短期集中県域支援品目販売戦略推進事業 (R4 ~ R6) おおいたブランド推進課 短期集中県域支援品目(ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーズ)の生産拡大計画を踏まえた有利販売を実現するため、全農おおいたが実施する戦略的な販売促進活動に対し助成する。	①戦略的な販売促進に対する支援 ・大手食品メーカーと連携したプレゼントキャンペーンや量販店での特設売場設置による販売促進、集客力がある大型商業施設でのフェアの開催(ねぎ・ピーマン) ・甘太くん専用焼き芋機と甘太くん着ぐるみによる量販店での販売促進(高糖度かんしょ(甘太くん)) ・ギフトアイテム取扱拡大に向けた高級量販店での販売促進、関西百貨店でのメニューフェアによる認知度向上(ベリーズ)	① 17,565 ③	短期集中中広域支援品目の合計販売金額 [百万円]	目標値		6,802	8,317	B			
			②		④	実績値		6,707		—		
			主な活動指標と達成率				達成率			98.6%	—	
			補助事業採択件数		目標値	1	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 販路開拓アドバイザーによる新規販売先の開拓や、大手食品メーカーと連携したプレゼントキャンペーン、消費拡大に向けた飲食店とのメニューフェアなど、積極的に販売促進活動を実施した結果、短期集中県域支援品目の合計販売金額は6,707百万円となった。 今後は、生産者による市場PRや試食宣伝など、積極的な販売促進を継続的に実施する。					
			[件]		実績値	1						
		目標値										
		実績値										
予算額 (うち翌年度繰越額) 20,000 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 17,565 (0)			達成率									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針						
4	The・おおいたブランドPR推進事業 (R3 ~ R4) おおいたブランド推進課 県産農林水産物の消費拡大を図るため、県内旅館・ホテルの宿泊者向けの県産食材プレゼントキャンペーンを実施する。	① 宿泊者向け県産農林水産物プレゼントキャンペーン 県産農林水産物の幅広いPRを目的に、県内宿泊施設の宿泊者を対象に県産農林水産物が当たるプレゼントキャンペーンの実施	宿泊者向け県産農林水産物プレゼントキャンペーンは、4月1日～5月8日に実施し、34,906人の応募があった。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宿泊者向けプレゼントキャンペーン</td> </tr> <tr> <td>対象期間</td> <td>令和4年4月1日～5月8日</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>応募総数：34,906人 当選者：8,400人</td> </tr> </table>	宿泊者向けプレゼントキャンペーン		対象期間	令和4年4月1日～5月8日	実施	応募総数：34,906人 当選者：8,400人	
		宿泊者向けプレゼントキャンペーン							
対象期間	令和4年4月1日～5月8日								
実施	応募総数：34,906人 当選者：8,400人								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額 (うち翌年度繰越額)</td> <td>決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">125,200 (0)</td> <td style="text-align: center;">117,355 (117,355) (0)</td> </tr> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)	125,200 (0)	117,355 (117,355) (0)					
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)								
125,200 (0)	117,355 (117,355) (0)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
5	畜産GAP取得推進事業 (R2 ~ R4) 畜産振興課 畜産の競争力強化を図るため、指導員の育成から生産者指導及び生産者による畜産GAP等の認証取得までを推進する。	① 農家指導にかかる研修会等の経費 ・畜産GAP取得希望農家に対する飼養衛生管理等の衛生指導の実施：4回 ・畜産GAP専門家による研修会開催：1回 ② 畜産GAP認証取得に対する助成 ・指導員の育成 ・畜産GAP指導員基礎研修	① 1,045 ③ ② 126 ④	畜産GAP取得農場数 [累計：戸]	目標値 4 実績値 2 達成率 50.0%	4	6		D
			主な活動指標と達成率 取組指導農家戸数 [戸]		目標値 4 実績値 4 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 指導員確保、生産者指導及び県機関において畜産GAP認証を取得することで、周辺地域への畜産GAPの普及・啓発を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要が減少する中、認証取得が進まず、取得農場数は目標値を下回った。 認証には至らなかったが、事業を通じて畜産GAPの考え方・手法は普及できたことから、当該事業は終了する。			
			研修会開催回数 [回]	目標値 1 実績値 1 達成率 100.0%					
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額 (うち翌年度繰越額)</td> <td>決算額 (うち国庫支出金)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,754 (0)</td> <td style="text-align: center;">1,171 (126)</td> </tr> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	1,754 (0)	1,171 (126)		
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)								
1,754 (0)	1,171 (126)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
6	しいたけ消費拡大対策事業 (R3 ~ R5) 林産振興室 しいたけの消費拡大を図るため、生産者と流通事業者等が一体となって行うブランド力向上や新たな消費者層の獲得に向けた取組を支援する。	① 「うまみだけ」による消費拡大対策 ・販売店の拡大に係る取組（全国）：3回 ・観光施設と連携したメニュー化の取組（全国）：3回 ・販促PRイベントの開催（県内）：3回 ・雑誌及びSNS等による魅力の発信（全国）：3回 ・新商品の開発等補助事業の説明（県内）：4回 ② 乾しいたけの販売強化・普及PR活動 ・販売店の拡大に係る取組（東京・フランス）：2回 ・販促PRイベントの開催（全国）：5回 ・料理セミナーの開催（全国）：8回 ③ 生しいたけの販売強化・普及PR活動 販売イベントの開催（県内・京都）：2回	① 20,880 ③ 380 ② 3,311 ④	「うまみだけ」生産量 [t]	目標値 30 実績値 40 達成率 133.3%	30	60	120	B
			主な活動指標と達成率 乾しいたけPR活動回数 [回]		目標値 12 実績値 15 達成率 125.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「うまみだけ」品種別管理調査による生産者指導や、メーカー、普及指導員による情報提供により、出荷量は前年度比135%となった。 また、積極的なプロモーションにより、販売店や飲食店での取扱いが増加しており、市場の平均単価は一般品と比較して、427円/kg高く取り扱われている。 令和5年度からは、大消費地である関東地方で販路の確保を強化し、しいたけの消費拡大を図る。			
			「うまみだけ」PR活動回数 [回]	目標値 4 実績値 16 達成率 400.0%					
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額 (うち翌年度繰越額)</td> <td>決算額 (うち国庫支出金)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">26,473 (0)</td> <td style="text-align: center;">24,571 (7,297)</td> </tr> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	26,473 (0)	24,571 (7,297)		
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)								
26,473 (0)	24,571 (7,297)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
7	県産水産物流通拡大推進事業 (R1 ~ R6) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大を図るため、大消費地における販促活動を行うとともに、子育て世代を中心とした魚食普及活動や「おおいた県産魚の日」を活用した県産魚PR活動を実施する。	①パートナーシップ飲食店等でのフェア開催 ・寿司チェーン店（かぼすプリフェア）：1回 ・天井チェーン店（ハモ、ブリ等の天然魚フェア）：2回 ②魚食普及活動 ・小中学校等でのお魚捌き方教室等の開催：20回 ・ヘルスメイト向けの講習会開催：12回 ③都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 ・関東：12回（かぼすプリフェア等） ・関西：6回（大分フェア等） ・九州：2回（かぼすヒラメ、ヒオウギガイフェア等）	① 4,441 ③ 2,763	「おおいたの魚パートナーシップ飲食店」数 [店]	目標値	—	1	1	A
			② 3,715 ④		実績値	—	1	—	
	主な活動指標と達成率	認定飲食店等でのフェア開催回数	目標値 2 実績値 3 [回] 達成率 150.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 かぼすプリ開発当初から取扱い実績のある寿司チェーン店を「おおいたの魚パートナーシップ飲食店」として認定した。また、「おおいたの魚パートナーシップ量販店」等を中心にフェアを開催したほか、県内で県漁協等の各種団体が魚食普及活動を行い、県産魚のPRを行った。 今後は、県内量販店での対面販売や、県産魚の情報発信の強化等に取り組む。	達成率 — 100.0%	—	100.0%	—	
	量販店等でのフェア開催回数	目標値 20 実績値 20 [回] 達成率 100.0%							
	予算額 (うち翌年度繰越額) 12,796 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 12,030 (10,919)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
8	県産農水産物学校給食提供事業 (R2 ~ R4) 農林水産企画課 外食需要が減少した県産農水産物の消費を回復させるため、希望する県内小中学校等の学校給食に県産農水産物を提供するとともに、食育を通じ児童・生徒の農林水産業への理解醸成に取り組む。	①県産農水産物提供経費への補助 新型コロナウイルス感染症の影響により外食需要が減少した県産農水産物（冠地どり、ハモ）の消費を回復させるため、学校給食向けに食材を提供する際に必要となる経費に対し助成	令和4年9月から10月の間に、冠地どりで9.9t、ハモで1.0tを学校給食に提供するなど、県産農水産物の消費拡大を図ることができた。 当初の事業目的を達成したことから当該事業は終了する。
		【対象】 県内の公立小中学校及び特別支援学校等（382校） 【期間】 令和4年9月～10月 【提供量】 冠地どり 9.9t、ハモ 1.0t	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 100,000 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 30,854 (30,854)		

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
9	6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~) おおいたブランド推進課 農林漁業者等と2次・3次事業者の連携を促進するとともに、6次産業化を推進するため、県産農林水産物の付加価値向上、雇用の創出、地域の活性化につながる取組を実施する。	①6次産業化サポートセンター等の運営 ・6次産業化の総合相談窓口を設置し、農林漁業者等の経営改善を支援 ・6次産業化等に取り組む事業者を対象とした研修会の開催 ・異業種交流会の開催 ②スタートアップ支援、出口支援 ・取組の初期段階で生じる個別課題に対して、専門家の派遣や事例集の作成による普及啓発を行い、新たな取組の後押しを推進 ・事業者の商談スキルの向上や販路拡大、商品改良を図るため、オンライン商談会等を実施	① 15,895 ③	6次産業化等の新規取組件数 [件]	目標値	—	12	12	A
			② 2,521 ④		実績値	—	16	—	
	主な活動指標と達成率	6次産業化チャレンジスクール受講者数	目標値 20 実績値 22 [人] 達成率 110.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 6次産業化サポートセンターや九州農政局等の関係機関と連携して新たに取り組む経営体の確保や経営安定を支援した。また、新型コロナウイルスの感染防止対策として導入したオンライン商談会や試食展示会を開催して事業者の販路開拓を後押しした。 引き続き関係機関と連携して人材の育成等を行い、6次産業化等の推進を図っていく。 ※前年度の成果指標は「6次産業化に係る総合化事業計画の認定件数」だったが、国が事業方針を事業者の経営改善に変更したことを踏まえ、「6次産業化等の新規取組件数」に変更する。	達成率 — 133.3%	—	—		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 19,828 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 18,416 (15,895)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価	
10	木造建築物等建設促進総合対策事業 (H23～) 林産振興室	①公共建築物等地域材利用促進事業 地域材利用のモデルとなる公共建築物の木造化・内装木質化に要する経費の一部を助成：1件 ②オリンピック・パラリンピックレガシー創造事業 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場で使用された木材をレガシーとして利用 ③非住宅建築物地域材利用促進事業 建築物木材利用促進協定を締結した事業者の建築物の木造化・内装木質化に要する経費の一部を助成：1件 ④木の匠育成事業 ・中大規模木造建築物の設計に係る講習会の実施 ・建築士等が木造に取り組む際の相談窓口を設置	① 100,000 ③ 4,716	木造化・木質化施設数	目標値	—	1	1	A	
			② 5,500 ④ 2,160		実績値	—	2	—		
	県産材の利用促進を図るため、非住宅建築物の木造化・内装木質化等に要する経費に対し助成するとともに、県産材を活用した木造建築物の普及に取り組む。		主な活動指標と達成率		[棟]	達成率	—	200.0%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 113,886 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 112,877 (81,521)		建築物木材利用促進協定締結数		目標値	1	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 民間事業者との建築物木材利用促進協定の締結により、民間事業者2者の施設2棟の木造化・木質化が図られた。 引き続き民間事業者等との建築物木材利用促進協定の締結を推進するとともに、地域材利用のモデルとなる建築物の木造化・内装木質化等を図り、県産材利用を促進する。 ※前年度の成果指標は「木造マイスター修了者数」だったが、県産材の利用促進を図る必要があることを踏まえ、「木造化・木質化施設数」に変更する。			
			[件]		実績値	1				
		[件]		達成率	100.0%					
				目標値						
					実績値					
					達成率					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価	
11	持続可能な豊かな有機産地等活性化事業 (R4～R6) 地域農業振興課	①市町村単位での有機産地等の育成 ・市町村による有機農業取組支援 ・減農薬・減化学肥料栽培の取組支援 ②有機農産物の流通・販路拡大 ・県域出荷組織の体制強化 ・商談会、先進地視察研修の実施 ③持続可能な有機農業経営体の育成 異常気象対策や作業効率向上のための施設機械整備支援	① 24,405 ③ 3,363	県域出荷組織構成員の販売額	目標値		291	312	A	
			② 5,413 ④		実績値		297	—		
	持続可能な食料システムを構築するため、「みどりの食料システム戦略」に基づき、有機野菜等の生産・販売に取り組む産地を育成する。		主な活動指標と達成率		[百万円]	達成率	102.1%	—		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 35,308 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 33,181 (24,410)		土壌診断数		目標値	30	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和2年度に設立した共同出荷組織に販売計画のとりまとめや販路開拓を進める専任部門を新設したほか、関東圏などの大消費地を対象に物流網を再編するなど、安定した販売体制の構築に取り組んだ。 引き続き安定したサプライチェーンを確立するため、県域出荷組織の生産販売体制の強化を支援する。			
			[件]		実績値	102				
		[件]		達成率	340.0%					
				目標値						
					実績値					
					達成率					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価	
12	水田農業産地力強化対策事業 (R4～R6) 水田畑地化・集落営農課	①先端的水田農業経営体育成対策 ・農地利用効率化等支援事業 : 1地区 ・先端的技术活用経営体育成対策 : 2地区 ②米産地のパワーアップ対策 ・なつほのかの導入・普及拡大 統一ロゴマーク作成、推進協議会運営支援等 ・つや姫拡大のための産地育成対策 : 2件 つや姫コンテスト開催、つや姫販売促進キャンペーン資材作成等 ・特A獲得対策 : 6件 特A米栽培に向けた実証ほの設置と管理指導、病害虫の適期防除指導、特A米販売促進キャンペーン資材作成等 ③スマート水田農業研究会調査委託 : 3地区	① 11,635 ③ 1,238	米の食味ランキング特A獲得地区数	目標値		1	1	A	
			② 5,383 ④		実績値		3	—		
	消費者ニーズに応じた水田作物の生産・供給体制を強化するため、良食味米及び麦・大豆の収量・品質の高位平準化に取り組むほか、高温に強い水稻品種への転換を支援する。		主な活動指標と達成率		[地区]	達成率	300.0%	—		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 35,058 (6,750) 決算額 (うち国庫支出金) 21,020 (10,264)		生産者組織の育成数		目標値	6	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 特A獲得対策において、実証ほの設置地区数を増加させるとともに、県内各地で栽培指導や病害虫防除等を徹底した結果、米の食味ランキングにおいて、新品種「なつほのか」を含む3品種で「特A」を獲得することができた。 引き続き新品種「なつほのか」を中心として、消費者ニーズに応じた水田作物の生産・供給体制の強化に向けた取組を推進するとともに、スマート農業技術等の実証・調査研究を実施する。			
			[組織]		実績値	6				
		[組織]		達成率	100.0%					
		先端的水田農業経営体育成対策事業箇所数		目標値	3					
					実績値	3				
					達成率	100.0%				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
13	小麦産地生産性向上緊急対策事業 (R4～R4) 水田畑地化・集落営農課	①生産性の向上に必要な機械導入 ・コンバイン：1台 ・サブソイラー：1台 ②先進的な営農技術の導入 ドローンによる農薬散布面積：18.7ha	① 3,328 ③	本事業により生産拡大を図った経営体数 【経営体】	目標値		2		A
			② 280 ④		実績値		2		
	輸入に依存している麦類の生産を拡大するため、営農技術・機械の導入等を支援する。	②先進的な営農技術の導入 ドローンによる農薬散布面積：18.7ha	主な活動指標と達成率		達成率		100.0%		
			生産性向上のための機械導入台数	目標値	2	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 生産性向上に必要な機械導入やドローンによる広域的な農薬散布の実施による農作業の省力化により、麦類の生産拡大を図った。 これらの取組により、当初の事業目的を達成したことから当該事業は終了する。			
				実績値	2				
[台]	達成率	100.0%							
目標値									
実績値									
達成率									
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)								
3,608 (0)	3,608 (3,608)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
14	食品企業連携産地拡大推進事業 (H28～) おおいたブランド推進課	①加工業務需要拡大対策 産地と食品企業等が連携して取り組む新商品開発や製造拡大に必要な加工機械等の整備への支援 ②産地育成対策 ・加工業務用農産物の栽培に必要な土壌分析、生産費及び機械化体系の確立に向けた機械のレンタルや運搬費用等に対する支援 ・加工業務用原料の供給拡大に必要な農業用機械、搬出用機械等の導入に対する支援 ・加工業務用原料の品質・量の確保に向けた品種試験や排水対策実証等を支援 ③ビジネスマッチング対策 フードマーケットによる食品企業と産地のマッチングの推進	① 4,729 ③ 870	食品企業ニーズに対応した生産・出荷体制の構築 【マッチング数・産地拡大数】	目標値	24	24	24	A
			② 2,069 ④		実績値	34	32	—	
	農商工連携による農林水産物の付加価値向上を図るため、産地と県内外の食品企業が連携した取組を支援する。	②産地育成対策 ・加工業務用農産物の栽培に必要な土壌分析、生産費及び機械化体系の確立に向けた機械のレンタルや運搬費用等に対する支援 ・加工業務用原料の供給拡大に必要な農業用機械、搬出用機械等の導入に対する支援 ・加工業務用原料の品質・量の確保に向けた品種試験や排水対策実証等を支援 ③ビジネスマッチング対策 フードマーケットによる食品企業と産地のマッチングの推進	主な活動指標と達成率		達成率	141.7%	133.3%	—	
			加工業務用農産物の栽培拡大面積	目標値	24.0	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 フードマーケットによる食品企業と産地のマッチングにより、かぼちゃ、たまねぎ等の産地が拡大した。また、食品企業のニーズを早期に産地づくりに活かす仕組みを構築するため、県、市町、農協による加工・業務用産地育成会議を設置した。 今後は、新規品目の栽培技術確立に向けた生産資材や生産拡大に必要な機械の導入等を促進して早期の産地化を進め、生産者が安定した経営を行えるよう支援していく。			
				実績値	40.5				
[ha]	達成率	168.8%							
目標値	2								
実績値	2								
達成率	100.0%								
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)								
9,965 (0)	7,668 (3,333) (0)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
15	ねぎ産出額100億円プロジェクト推進事業 (R3～R4) 園芸振興課	①白ねぎの周年安定生産を目的とした高原出作者への水源確保を支援 ・水源設置：2戸 ②白ねぎの新規栽培や生産拡大に必要な一連の機械類の導入を支援 ・皮むき機導入：1戸	① 5,393 ③	ねぎ産出額 【億円】	目標値	85	90		A
			② 401 ④		実績値	71	91		
	令和5年までに白ねぎ、こねぎを合わせた産出額100億円を実現するため、白ねぎの新規栽培者等の機械導入を支援するとともに、大規模経営体による技術指導を実施する。	②白ねぎの新規栽培や生産拡大に必要な一連の機械類の導入を支援 ・皮むき機導入：1戸	主な活動指標と達成率		達成率	83.5%	101.1%		
			白ねぎの生産面積	目標値	690	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 苗の供給体制構築や新規栽培者のスタートアップ、機械整備などをパッケージで支援することで、急速な産地拡大が図られた。 これらの取組により当初の事業目的を概ね達成したことから、当該事業は終了する。			
				実績値	688				
[ha]	達成率	99.7%							
目標値	126								
実績値	131								
達成率	104.0%								
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)								
5,794 (0)	5,794 (5,794) (0)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価	
16	短期集中県域支援品目生産拡大推進事業 (R4 ~ R6) 園芸振興課 短期集中県域支援品目の生産を拡大するため、産地の主体的な取組を集中的かつ総合的に支援する。	①ねぎ産出額100億円プロジェクト対策 ・機械導入・施設整備支援、生産経費支援 ・広域育苗施設整備、新規栽培者実践研修 他 ②高糖度かんしょ産地拡大対策 機械導入・施設整備支援、病害虫対策支援 他	① 254,775 ③ 27,192	短期集中県域支援品目の作付面積の拡大 [ha]	目標値		644	776	A	
			② 68,267 ④ 4,243		実績値		660	—		
			③「ベリーツ」生産確立対策 ・生産技術の高度化（環境制御、ドローン実証） ・機械設備導入支援（優良種苗確保など） ・パッケージセンター整備支援（2箇所） 他		主な活動指標と達成率 白ねぎ産地の拡大		達成率	102.5%	—	
	④ピーマン産地拡大強化対策パッケージ 施設整備支援、病害虫対策 他		高糖度かんしょの生産面積 [ha]		目標値	359				
予算額 (うち翌年度繰越額) 378,005 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 359,945 (347,963)				実績値	360					
				達成率	100.3%					
				目標値	159					
				実績値	163					
				達成率	102.5%					

事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
 ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーツの産地拡大を急ぐため、産地拠点施設や生産機械・設備の整備、生産性向上技術の確立等をパッケージで支援することで目標を達成した。
 引き続き経営体の規模拡大や調製作業の分業化体制構築などの労力確保対策を支援するとともに、「こねぎ」を対象に追加し、さらなる産地拡大を進める。

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価	
17	おおいと園芸産地づくり支援事業 (R4 ~ R6) 園芸振興課 短期集中県域支援品目等の生産を拡大するため、認定農業者等が行う栽培施設や共同利用施設の整備等を支援する。	①短期集中県域支援品目対策 ・栽培施設整備（ベリーツ、ピーマン、こねぎ）14件 ・機械導入（白ねぎ、高糖度かんしょ）2件 他 ②産地拡大推進品目対策 ・栽培施設整備（トマト、にら、ぶどう等）15件 ・機械導入（にんにく、ぶどう等）9件 他	① 900,117 ③ 11,519	産地拡大推進品目の増加面積 [ha]	目標値		45.0	45.0	B	
			② 264,100 ④		実績値		43.6	—		
			③地域担い手支援品目対策 ・栽培施設整備（レタス）1件 ・機械導入（柑橘）1件 他		主な活動指標と達成率 産地づくり計画策定数		達成率	96.9%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 1,714,120 (208,148) 決算額 (うち国庫支出金) 1,181,397 (779,685)		[計画] 事業担当者会議の開催回数		目標値	50				
				実績値	77					
				達成率	154.0%					
				目標値	4					
				実績値	4					
				達成率	100.0%					

事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
 資材高騰等の影響により施設整備の延期や経営規模の縮小等が発生したことから産地拡大推進品目の増加面積は目標に届かなかったものの、新規就農者の確保や認定農業者の規模拡大など産地の生産基盤の拡大が図られた。
 引き続きピーマン等の短期集中県域支援品目の産地拡大に向けて重点支援するとともに、市町の産地戦略に基づいて認定した産地拡大推進品目を支援し、園芸品目の生産面積拡大に取り組んでいく。

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
18	花き経営安定化対策事業 (R3 ~ R5) 園芸振興課 花きの流通販売体制を強化するため、コロナ禍における新たな販売形態への対応及びキク生産者の経営リスク分散に向けた新規品目の導入を支援する。	①新しい生活様式に対応した花きの消費拡大支援 ポストコロナ環境に対応した家庭消費拡大に向けた配送体制の構築及び県産花きのPR活動 ・商品化に向けた配送試験（100件×12回） ・産地動画の制作（5点） ・花レシビ動画・カードの制作（6点） ・PR動画の制作および放映（1点、2ヶ所） ・生産者と花屋との意見交換（1回） ・PR展示（イベント2回、各市町50ヶ所） ②キク生産者経営安定化のための支援 複合経営を目的とした需要の高い品目（ストック、トルコギキョウ、ヒマワリ、アカシア）の導入支援 ・導入戸数：ストック4戸、トルコギキョウ3戸、ヒマワリ1戸、アカシア1戸 ・導入面積：119a	① 9,999 ③	複合品目の導入面積 [ha]	目標値	—	1.0	1.0	A
			② 1,236 ④		実績値	—	1.2	—	
			主な活動指標と達成率 事業担当者会議の開催回数		達成率	—	120.0%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 11,402 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 11,235 (11,235)		[回] 新品種等導入にかかわる研修会開催回数		目標値	2			
				実績値	2				
				達成率	100.0%				
				目標値	2				
				実績値	2				
				達成率	100.0%				

事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
 コロナ禍における多様な品目の花きの消費需要に対応するため、キク生産者に対して、1.2haの複合品目の導入支援を行い、経営安定を図った。また、ニーズに応じた配送体制を構築することで、花きの消費拡大に取り組んだ。
 引き続き非接触型販売の促進やPR活動等により、花きの流通販売体制を強化するとともに、複合経営モデルを確立することで、花き経営の安定化を進める。
 ※前年度の成果指標は「キク産出額前年度増加額」だったが、コロナ禍でキクの需要が落ち込み、事業の成果を測り難いため、事業内容に沿った「複合品目の導入面積」に変更する。

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
19	県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業 (H29～) 畜産振興課 県内養豚農家の所得向上を図るため、オレイン酸に着目した県統一ブランド「米の恵み」及びオレイン酸含有率の高い高価格帯の特別商品「米の恵みプレミアム」の販売促進等を支援する。	①養豚競争力強化施設整備事業費補助 規模拡大を目指す既存農家の施設整備に対する助成 ②「米の恵み」消費拡大のための販促資材の作成及び 広告・宣伝活動に対する支援 ・育樹祭おもてなし弁当への提供とブース設置によるPR ・ホテル・飲食店でのフェア開催 ・米の恵み豚ありがとうキャンペーンの実施 ・県内調理師専門学校でのレシピ発表会等 ③オレイン酸含有率測定体制の整備 ・オレイン酸測定機により「米の恵み」として出荷する豚のオレイン酸含有率を測定 ・オレイン酸測定回数 115,872頭 うちプレミアム出荷頭数 33,455頭	① 363,889 ③ 808 ② 2,300 ④	米の恵みプレミアム出荷頭数 目標値 30,000 実績値 51,188 達成率 170.6%	30,000	35,000	35,000	B	
			主な活動指標と達成率 イベント等開催回数 目標値 10 実績値 12 達成率 120.0%		達成率 170.6%	95.6%	—		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 367,927 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 366,997 (363,889)	オレイン酸測定回数 目標値 111,500 実績値 115,872 達成率 103.9%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 規模拡大を図るため、畜産クラスター事業を活用し、養豚農家の豚舎等の整備を支援した。また、認知度向上と販売促進を目的としたフェア、キャンペーンを県内外の飲食店等で積極的に支援するとともに、TVや新聞等で情報発信したが、暑熱や飼料高騰の影響もあり、目標を下回った。 引き続き「米の恵み」の消費拡大・販路拡大を目的に認知度向上に取り組む。				

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
20	おおいた冠地どり流通拡大対策事業 (H29～) 畜産振興課 県産地鶏「おおいた冠地どり」のさらなる生産拡大を図るため、専門店設置によるブランド力向上と需要拡大に取り組むとともに、供給力強化に必要な施設の整備改修を行う。	①増羽のための施設整備や改修にかかる費用の助成 ・自動給餌ライン一式：1件 ・給餌器：1件 ・動力噴霧機一式：1件 ・孵卵器冷却水用チャラー：1件 ②県内外への販路拡大や商談展示会出展・フェアの開催等による知名度向上に要する経費の支援 ・サンプル提供（延べ213業者・437kg） ・大分空港や大分駅での看板設置 ・フェア・イベントへの参画 大分県農林水産祭、育樹祭おもてなし弁当への提供とブース設置、県内調理師専門学校レシピ発表会、大阪外食産業協会でのPR、ムスムス大分メニューフェア等	① 1,708 ③ ② 1,503 ④	出荷羽数 目標値 150 実績値 123 達成率 82.0%	150	150	200	C	
			主な活動指標と達成率 情報発信回数 目標値 3 実績値 7 達成率 233.3%		達成率 82.0%	87.3%	—		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 3,702 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,211 (0)	現地協議回数 目標値 3 実績値 3 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、飲食店・宿泊施設への流通量は徐々に回復し、前年度の実績を上回ったものの、その影響は依然として残っていたため、目標には達しなかった。 今後は、新商品の開発や商談、フェア・イベントへ積極的に参画し、販路拡大の取組を進めるとともに、生産農家に施設整備や改修を促し、生産性・収益性の向上を図る。				

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
21	肉用牛競争力強化対策事業 (H28～) 畜産技術室 肉用牛生産基盤を強化するため、経営体が行う規模拡大に向けた畜舎の整備や飼養環境改善のための設備整備に対し助成する。	①大規模経営体育成対策事業 規模拡大を目指す既存農家の施設・省力化機器整備に対する助成 補助率 1/2 (県1/3、市町1/6) ・牛舎、堆肥舎、分娩監視カメラ等の整備 8件 ②飼養管理対策事業 飼養環境改善のための施設整備等に対する助成 補助率 1/2 (県1/3、市町1/6) 35件 ・飼養環境改善（換気扇、暑熱対策を目的とした屋根改修等） ・給餌給水改善対策（ウォーターカップ等） ・事故率低減対策（ICT機器） ③肉用牛競争力強化施設整備事業 畜産クラスター計画に基づく規模拡大に取り組む法人等の牛舎施設整備に対する助成 補助率 1/3 1件（県単分）	① 15,574 ③ 218 ② 14,494 ④	肥育牛の平均枝肉重量 目標値 — 実績値 — 達成率 —	—	514.0	520.0	B	
			主な活動指標と達成率 取組戸数（大規模経営体育成対策事業） 目標値 7 実績値 8 達成率 114.3%		達成率 —	98.4%	—		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 248,358 (211,896) 決算額 (うち国庫支出金) 34,196 (30,286)	事業説明会の開催回数 目標値 12 実績値 12 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 高齢化や担い手不足による生産基盤のぜい弱化が進む中、施設整備に取り組む43戸を支援し、畜産農家の規模拡大、生産性向上を図った。 今後も、多頭化が進む県内の肉用牛農家に対し、施設整備や各種スマート機器の導入を支援することで、持続可能な肉用牛生産基盤を確立する。				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
22	酪農経営生産性向上対策事業 (H29～) 畜産技術室 国際化の進展に対応可能な生産性の高い酪農経営体制を構築するため、後継牛の能力向上や規模拡大の取組を支援する。	①乳用優良雌牛貸付事業 初妊牛の外部導入経費に対し貸付けを実施 ②酪農支援対策施設整備事業 酪農経営体の省力化・カウコンフォート・暑熱対策等の機器整備に要する経費等に対し助成 ③後継牛能力向上対策事業 優良な後継牛を確保するため、ゲノム検査や高能力種雄牛の性判別精液購入に要する経費等に対し助成 ④後継牛緊急確保特別対策事業 酪農経営体が生産基盤を強化する際、増頭分のかかり増し経費に対し助成	① 29,989 ③ 12,546 ② 29,456 ④ 9,030	平均個体乳量9,000kg以上の農家戸数 [戸]	目標値	38	40	42	A		
			実績値		38	46	—				
			主な活動指標と達成率				達成率	100.0%	115.0%	—	
			事業推進会議の開催回数		目標値 10 実績値 10 [回] 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 乳用牛ゲノム検査や性判別精液の活用など高能力な後継牛の確保に向けた施策を展開したことで、生産性が高まり、結果として46戸が平均個体乳量9,000kg以上となり、目標を達成した。今後は、生産コストの増大に対応可能な酪農経営体制の構築に向け、個体乳量の増加に資する補助を行うことにより、経営基盤の強化を図る。					
後継牛割合		目標値 38.0 実績値 37.1 [%] 達成率 97.6%									
予算額 (うち翌年度繰越額) 96,654 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) (3,900) (47,132)											

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
23	草地畜産基盤整備事業 (H29～R9) 畜産技術室 規模拡大等による担い手の経営安定や、安全・安心な自給飼料を通じた産地づくりのため、飼料生産基盤の整備や、自給飼料活用型の経営改善を支援する。	①草地造成や施設整備に対する助成 ・事業実施地区：やまなみ地区 ・補助率：基本施設3/4（国5.5/10 県2/10） ・事業内容 草地整備改良：19.8ha 草地造成改良：6.1ha 飼料畑造成改良：0.5ha	① 50,269 ③ ②	草地造成・整備面積 [累計：ha]	目標値	69.0	74.0	122.8	A		
			実績値		73.2	99.6	—				
			主な活動指標と達成率				達成率	106.1%	134.6%	—	
			推進会議の回数		目標値 12 実績値 20 [回] 達成率 166.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和4年度は、やまなみ地区で事業に着手し、令和5年度以降に予定していた工区も前倒しで草地整備改良等を進めた結果、26.4haの草地を改良し、飼料生産基盤の整備に繋がった。引き続き自給飼料主体の経営への転換を促し、飼料価格に左右されない畜産経営体の増加につなげる。					
予算額 (うち翌年度繰越額) 50,904 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 50,269 (36,820)											

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価		
24	堆肥広域流通・飼料生産拡大モデル事業 (R4～R6) 畜産技術室 耕畜連携による資源循環型の農畜産業を実現するため、県域での堆肥循環システムの構築や、モデル生産者等が取り組む省力的な生産が可能な高栄養自給飼料の栽培を支援する。	①飼料用トウモロコシ栽培の普及促進 ・モデル圃場における現地研修会の開催：3回 ・堆肥購入等に対する助成	① 1,543 ③ ②	モデル地域での飼料用トウモロコシ作付面積 [累計：ha]	目標値		30.0	60.0	A		
			実績値			37.3	—				
			主な活動指標と達成率				達成率		124.3%	—	
			飼料用トウモロコシ生産・利用推進に向けた関係者協議		目標値 6 実績値 9 [回] 達成率 150.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 モデルほ場から酪農家4戸に飼料用トウモロコシが供給され、高騰が続く輸入飼料の給与量の削減が図られた。モデルほ場では、酪農家から提供された牛糞堆肥を投入し、耕地の地力回復を図ることができた。引き続き県域での耕畜連携による堆肥循環・飼料生産システムの構築に向けて、堆肥を活用した飼料用トウモロコシ作付推進及び利用拡大に取り組む。					
飼料用トウモロコシ生産作業受託に取組む組織への技術指導		目標値 4 実績値 10 [回] 達成率 250.0%									
予算額 (うち翌年度繰越額) 4,145 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 1,543 (0)											

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針										
25	畜産経営緊急支援事業 (R4 ~ R5) 畜産技術室 飼料費の高騰等による畜産経営に対する影響を最小限に抑えるため、配合飼料価格安定制度の生産者積立金への助成や自給飼料の生産体制整備を支援する。	①配合飼料価格安定制度補助事業 配合飼料価格高騰による畜産経営の影響低減を図るため、配合飼料価格安定制度への契約数量に応じて畜産農家に200円/tを助成	輸入飼料価格が円安や中国の旺盛な買い付け等により過去最高額となるなど、畜産経営は非常に厳しい状況の中、生産コスト低減等を目的とした生産性向上取組計画を有する畜産農家に対し、延べ606戸、306,245 t分を対象に補助金を交付した。 引き続き畜産経営の安定を図るため、輸入依存度を低減する自給飼料の生産体制整備の取り組みを支援する。										
	<実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>達成度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">配合飼料契約数量 [t]</td> <td>目標値</td> <td>268,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>306,245</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>114.3%</td> </tr> </tbody> </table>			目標指標	達成度	令和4年度	配合飼料契約数量 [t]	目標値	268,000	実績値	306,245	達成率	114.3%
	目標指標	達成度	令和4年度										
配合飼料契約数量 [t]	目標値	268,000											
	実績値	306,245											
	達成率	114.3%											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>118,171 (55,121)</td> <td>61,378 (61,378)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	118,171 (55,121)	61,378 (61,378)									
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)												
118,171 (55,121)	61,378 (61,378)												

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針										
26	酪農飼料転換緊急支援事業 (R4 ~ R5) 畜産技術室 急激な円安等により輸入牧草等の価格が急騰する中、輸入飼料に依存しない経営への転換を図るため、自給飼料の増産に取り組む酪農家に対し飼料費増加分の一部を支援する。	①酪農飼料転換緊急支援事業 自給飼料増産利用計画を有する酪農家に対し、輸入粗飼料増加分の一部を助成 ・対象者：自給飼料増産利用計画を有する酪農家 ・支給額：粗飼料価格上昇額×1/2 ・対象期間：令和4年4月～10月	急激な円安等による輸入牧草等の急騰や生乳生産抑制により酪農家を取り巻く経営状況は厳しい中、自給飼料増産利用計画を有する酪農家に対し、輸入粗飼料増加分の一部を助成し、乳用牛への継続的な粗飼料給与を図った。その結果、令和4年度の生乳生産量は昨年度対比96.9%となり、生産抑制も生じた中で生乳生産量を確保することができた。 今後も、自給飼料増産利用計画のフォローアップを行うなど、輸入飼料に依存しない自給飼料増産の取組等を支援する。										
	<実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>達成度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">生乳生産量の確保 [t]</td> <td>目標値</td> <td>72,409</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>70,137</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>96.9%</td> </tr> </tbody> </table>			目標指標	達成度	令和4年度	生乳生産量の確保 [t]	目標値	72,409	実績値	70,137	達成率	96.9%
	目標指標	達成度	令和4年度										
生乳生産量の確保 [t]	目標値	72,409											
	実績値	70,137											
	達成率	96.9%											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>76,379 (0)</td> <td>76,051 (76,051)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	76,379 (0)	76,051 (76,051)									
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)												
76,379 (0)	76,051 (76,051)												

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 各 々 の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価			
27	大野川上流地区園芸産地強化対策事業 (R2 ~ R5) 農村整備計画課 大野川上流地区において、大蘇ダムからの畑地かんがい用水を活用した野菜等の生産拡大及び農地の高度利用を図るため、給水栓の設置等を支援する。	①給水栓の設置 ・給水栓新規設置への助成：131ha 408ヵ所 ②農地高度利用対策 ・ターゲット地区への営農意向アンケート調査：113名 ・作付状況調査の実施 ・農地利用計画書の図化：3地区 162ha	① 8,160 ③	給水栓の設置により新たな水使用が可能となる畑地 [ha]	目標値	107	107	20	A			
			② 2,372 ④		実績値	109	131	—				
			主 な 活 動 指 標 と 達 成 率		竹田市西部地区営農振興協議会の開催回数	目標値 6 実績値 8 達成率 133.3%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 営農振興協議会で、関係者の役割分担とスケジュールを明確化して事業の進捗管理を行いつつ、事業に取り組んだ結果、目標を上回る131haのは場で新規給水栓を設置することができた。 引き続き営農振興協議会を中心に給水栓設置や農地の高度利用を推進し、大野川上流地区の野菜の作付拡大を図る。	達成率	101.9%	122.4%	—	
			農地利用計画策定に係る協議		目標値 10 実績値 12 達成率 120.0%							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,146 (0)</td> <td>10,538 (0)</td> </tr> </tbody> </table>		予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	11,146 (0)	10,538 (0)							
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)											
11,146 (0)	10,538 (0)											

主要な施策の成果（事務事業評価）令和4年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
28	林業再生県産材利用促進事業 (H21～) 林産振興室 県産材の需要拡大と高齢林の伐採・活用を図るため、木材の加工流通施設の整備や大径材の利用促進を図るため、林業研究部の試験用木材乾燥機の導入や大径材製品等おいた材販路確立事業等の取組を実施する。	①木材加工流通施設整備事業 製材工場の施設の整備に要する経費の一部を助成：3件 ②林業研究部の木材乾燥機導入 大径材製品の最適な乾燥方法等の研究を行うため農林水産研究指導センター林業研究部に蒸気・高周波・減圧複合乾燥機を導入 ③大径材製品等おいた材販路確立事業 県外プレカット工場等へ大径材製品のサンプルを提供し製品評価を実施 ④大径材製品等おいた材需要拡大事業 工務店や建築主向けの販売促進ツールを作成	① 370,270 ③ 8,932 ② 81,092 ④ 1,593	乾燥材生産量 [千m ³ /年]	目標値	8	10	12	A
			実績値		11	16	—		
			主な活動指標と達成率 乾燥機導入数	目標値 2 実績値 0 達成率 0.0%	達成率 137.5% 160.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 堅調な国産材需要もあって、目標を上回る乾燥材生産量となった。また、大径材の利用促進を図るため、大径材から生産した木材製品サンプルを県外需要者に提供し製品評価を行った。 今後は、高品質な製材品の生産を支援するとともに、大径材利用促進の取組として、大径材から生産した木材製品のサンプル出荷に対する支援等を実施する。			
			予算額 (うち翌年度繰越額) 543,315 (73,210) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 464,540 (370,270) (460,294)						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
29	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14～) 林産振興室 大分県産しいたけのさらなる品質向上と生産量の増大を図るため、生産基盤の整備や原木供給作業等の協業化の取組を支援する。	①生産施設、機械等の導入に対する補助 しいたけ生産の省力化・低コスト化を図るための生産施設整備及び機械導入に対し助成 ・効率化促進対策（バックホウ等整備）：6件 ・生産施設高度化対策（散水施設等整備）：24件 ・しいたけ生産施設（保冷库整備）：1件 ②林内作業路の整備に対する補助 しいたけ原木の搬出を目的とした幅員2m以上の林内作業路開設に対し助成 ・低コスト簡易作業路整備：13,329m ・補助率（定額）県400円/m、市100円/m	① 24,067 ③ ② 5,332 ④	中核的生産者数 [人]	目標値	219	219	219	A
			実績値		221	221	—		
			主な活動指標と達成率 低コスト簡易作業路の開設	目標値 24,000 実績値 13,329 達成率 55.5%	達成率 100.9% 100.9%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 資材高騰及び燃料高騰により、低コスト簡易作業路の開設やバックホウ等の導入、散水施設や林内作業車の導入等の支援制度の利用者数は減少したものの、燃料高騰対策の効果により、目標を達成した。 引き続き生産規模拡大に向けた生産施設・機械等の導入を支援するとともに、原木供給体制を構築することで、中核的生産者を確保し、品質向上と生産量の増大を図る。			
			予算額 (うち翌年度繰越額) 150,638 (110,380) 決算額 (うち国庫支出金) 39,646 (12,468)						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
30	農林水産物輸出需要開拓事業 (H28～) おおいたブランド推進課 成長する海外需要を取り込み、農林水産業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会等が行う輸出拡大の取組を支援する。	①マーケットインの産地づくり ・輸出産地形成に向けた海外市場ニーズ調査や生産・加工体制の構築（シャインマスカット、養殖ブリ、製材品、柑橘類） ・動物福祉に配慮した頭絡による家畜の取扱及び血斑発生低減のための試験的取組 ②新たな販路の開拓、取引量の拡大 商談会・展示会への出展や現地商社・海外人脈を活用したフェア等の実施	① 45,988 ③ ② 31,832 ④	農林水産物の輸出額 [億円]	目標値	42.4	42.4	51.9	A
			実績値		35.9	43.3	—		
			主な活動指標と達成率 輸出延べ品目数	目標値 54 実績値 57 達成率 105.6%	達成率 84.7% 102.1%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 社会経済の再活性化の動きに合わせて、積極的に販売促進活動に取り組んだ結果、多くの品目で輸出が拡大し、輸出額は過去最高の43.3億円となった。 今後も、国の実行戦略を踏まえ、輸出先のニーズに対応した産地づくりやJETRO等と連携した新たな販路の開拓など、輸出拡大に向けた戦略的な取組を進める。			
			予算額 (うち翌年度繰越額) 121,916 (35,190) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 77,820 (26,163) (45,987)						